

公益財団法人 J R 西日本あんしん社会財団
2022 年度 事業報告
(2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで)

I 事業概要

2022 年度については、新型コロナウイルスの感染拡大が続いたものの、コロナ禍に着手した新たな取り組みの定着に加え、ワクチン接種などにより様々な行動制限が一定程度緩和されたこともあり、感染状況に大きく左右されることなく、事業計画に掲げた各事業を着実に効果的・効率的に推進した。

1. 心身のケアに関わる事業

(1) 「いのちのセミナー」の開催

コロナ禍において「いのち」の重要性が増す中、引き続き、多様な観点から「いのち」を取り上げ、「いのち」について深く考える機会を多くの方に提供することを目的に、「いのちのセミナー」を 5 回開催した。

なお、コロナ禍の現状や聴講者のニーズを踏まえ、WEB 配信を基本としつつ、コロナ感染状況を見極め、ウイルス感染拡大予防策を講じたうえで「臨場感のある会場開催」も実施した。

<第 1 回 開催概要> 会場開催及びライブ配信 ※ 会場 318 名、ライブ配信 195 名

配信期間：2022 年 6 月 5 日(日) 13 時 30 分～15 時 00 分
講 師：米良 美一 氏 (カウンターテナー歌手)
演 題：波乱万丈物語 ～未来へ向けて～

<第 2 回 開催概要> 「YouTube」による録画配信 ※ 視聴回数：1,136 回

配信期間：2022 年 6 月 21 日(火)～9 月 30 日(金)
講 師：菅原 直樹 氏 (劇作家・演出家・俳優、介護福祉士)
演 題：老いと演劇 ～認知症の人と“いまここ”を楽しむ～

<第 3 回 開催概要> 「YouTube」による録画配信 ※ 視聴回数：1,636 回

配信期間：2022 年 9 月 22 日(木)～2023 年 1 月 4 日(水)
講 師：藤井 理恵 氏 (淀川キリスト教病院チャプレン)
演 題：たましいの安らぎ ～病院チャプレンのスピリチュアルケア～

<第 4 回 開催概要> 「YouTube」による録画配信 ※ 視聴回数：1,013 回

配信期間：2022 年 12 月 23 日(金)～2023 年 3 月 31 日(金)
講 師：佐藤 慧 氏 (認定 NPO 法人 Dialogue for People 代表、フォトジャーナリスト)
演 題：グリーフを抱えて生きる ～世界の紛争地・被災地の現場から～

<第 5 回 開催概要> 「YouTube」による録画再配信

配信期間：2023 年 3 月 22 日(水)～2023 年 6 月 30 日(金) (予定)
配信内容：2020 年度下期から 2021 年度上期にかけて実施したセミナーの再配信 (3 回分)
・尾角 光美 氏 なくしたものとつながる生き方 ～グリーフを感じるままに～
・田中 利典 氏 繋がりの中で生きる ～修験道に学ぶ～
・佐々木 慈瞳 氏 いのちのゆくえ ～自分らしさを生きる～

(2) 「小・中学生『いのち』の作文コンクール」の開催

作文を通じて「いのち」の大切さを考える機会を提供するとともに、優れた作品を世の中に発信することで、「いのち」を大切に作る「安全で安心できる社会」の風土づくりに繋げていくことを目的として、通算4回目となる作文コンクールを以下のとおり実施した。

<実施概要>

テ　　マ：あなたにとっての「いのち」
募集期間：2022年7月1日(金)～9月8日(木)
募集対象：近畿2府4県（滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山）に在住・在学の小・中学生
選考委員：委員長…重松 清 氏（作家）　副委員長…菊池 省三 氏（教育実践研究家）
応募状況：5,049人
表　　彰：大賞（4人）、優秀賞・選考委員長賞（6人）、優秀賞（20人）、入選（70人）
表彰式：2022年12月18日(日) 14:00～15:30 毎日新聞オーバルホール
※新型コロナ感染拡大防止策を講じ、優秀賞以上30名を対象に開催
作品集：2023年1月に1,200部発行、財団HPでも公開

(3) グリーフケアに関わる人材養成講座への助成（上智大学グリーフケア研究所人材養成講座）

誰もが安心して悲嘆等に伴うこころのケアを受けられる社会を目指し、グリーフケアに関する専門知識・技能を持って実践に携わる人材を養成している上智大学グリーフケア研究所の「グリーフケア人材養成講座」に対し、寄付助成を継続的に行っている。

2022年度は、「グリーフケア人材養成課程（大阪・2年制）」に34名が入学し、うち32名が2年次に進級、2021年度に入学した2年次生の32名が課程を修了した。また、日本スピリチュアルケア学会の「臨床スピリチュアルケア師」の資格取得を目指す「資格認定課程（1年制）」には12名が入学し、12名全員が同課程を修了した。

2. 地域社会の安全構築に関わる事業

(1) 「安全セミナー」の開催

近年、激甚化・頻発化する自然災害に加え、関西地区でも南海トラフの巨大津波や直下型地震が想定される中、中央防災会議で国や都道府県、市町村の防災計画に位置づけることが努力義務化されたタイムライン防災を学ぶことを通じて、「自分の命も、家族の命も自ら守る」という意識を持って頂くことを目的に、市民・地域社会への啓発活動として以下のセミナーを開催した。

なお、コロナ禍の現状を踏まえつつ、ワークショップや質疑応答を充実させるため、ハイブリッド方式にて実施した。

<開催概要>

開催日：2023年2月23日(木) 14:00～16:00
開催方法：会場（ホテルヴィスキオ尼崎）及びZoomウェビナー
講　　師：松尾 一郎 氏（東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター 客員教授）
演　　題：新たな防災計画、タイムライン防災を学び、作ってみよう！
参加者数：147名（会場45名、Zoomウェビナー102名）
※応募者を対象にアーカイブ動画配信（3/1～3/10、視聴者数162名）

(2) 「救急フェスタ」の開催中止

例年、救命措置の普及啓発を目的に開催している「救急フェスタ」は、コロナ禍において、密集・密接状態が不可避であり、代替手段もないことから、一昨年度及び昨年度に続いて開催を見送った。

(3) AED訓練器等の助成による救命処置の普及啓発

① 2023年度AED訓練器等の助成（募集、審査、決定）

救命処置の普及を進めるべく、救命処置の普及啓発活動を積極的に行う団体を公募し、以下の通りAED訓練器・訓練人形を助成した。

	株式会社	学校	NPO法人	その他	計
応募件数(ヒト)	1(1)	3(25)	—(—)	7(20)	11(46)
助成件数(ヒト)	—(—)	1(2)	—(—)	6(14)	7(16)

② 2022年度AED訓練器等助成事業活動成果報告会

助成期間（3年）終了団体との関係維持や団体同士の交流深度化による活動の活性化などを目的として、前年度に続き、今回で3回目となる活動成果報告会を以下のとおり開催した。

なお、開催に当たって、各政府機関・大阪府・業界団体の指針・ガイドラインに則り、新型コロナウイルス感染予防及び拡散防止のために必要な措置を講じた。

<開催概要>

開催日時：2022年9月4日(日) 15:00～17:45

場 所：ホテルグランヴィア大阪 20階 鳳凰（報告会）、名庭（意見交換会）

発 表 者：2団体

参 加 者：約30名（発表者、傍聴者、当財団役員・委員等）

そ の 他：卒業団体5団体へ感謝状・記念品の贈呈

：西本泰久氏（京都橘大学 健康科学部 教授、大阪ライフサポート協会 理事長）による救命処置に関する講演

：各団体及びAED訓練器等助成事業審査委員会委員との意見交換会

3. 「安全で安心できる社会」の実現に関わる事業

(1) いのちの電話（近畿ブロック7団体）への助成

現代社会を生きる中で深刻な悩みを抱え、助けを必要としている人からの電話相談を行っている「いのちの電話」の相談員のスキルアップやメンタルケア等に関する取り組みに対し、寄付助成を行っているが、引き続き近畿2府4県の7団体に対して助成を行った。

また、昨年度に続いて、いのちの電話（近畿ブロック7団体）において、団体間の連携強化を図るために実施している「いのちの電話近畿ブロック合同研修会」に対しても助成を行った。

(2) 関西遺族会ネットワークへの助成

京阪神に拠点のある遺族会が、個々の遺族会のレベルアップを目指して実施する勉強会を盛り込んだ交流会（定例会）の開催、並びにスキルを蓄積し個々の遺族会にフィードバックすることを目的としたコロナ遺族への対応に対し、助成を行った。

4. 公募助成事業

(1) 2023 年度公募助成（活動及び研究）の実施（募集、審査、決定）

当財団では、設立初年度より、事故・災害に対する備えやその後のケアに関連する活動・研究を対象とした公募助成を実施している。また、研究助成に関しては、2021 年度より、その成果の質的向上のほか、社会において活用されることを促すことを目的に複数年(2年)助成制度を開始した。

2022 年度は、前年度に採択した 2022 年度研究助成(2年助成)6 件全ての継続を決定するとともに、2023 年度に行われる活動や研究を対象とした助成事業について公募を実施し、審査のうえ、応募のあった 91 件のうち、50.5%に当たる 46 件を採択した。

これにより、2022 年度は、「継続」6 件・661 万円、「新規」46 件・2,687 万円、合わせて総計 52 件・3,348 万円の助成を行った。

区分		応募件数	助成件数	助成金額
継続	研究助成(2年目継続)	—	6 件	661 万円
新規	活動助成	44 件	29 件	1,386 万円
	活動助成(特別枠)	14 件	10 件	498 万円
	研究助成 ※	33 件	7 件	803 万円
小 計		91 件	46 件	2,687 万円
総 計		—	52 件	3,348 万円

※2023 年度研究助成のうち、複数年(2年)助成は、4 件・488 万円(2年目 487 万円)

(3) 第 12 回公募助成成果発表会

助成活動の成果の社会的還元や助成先同士の交流などを目的に、2021 年度に実施された助成活動及び研究の成果発表を行う「成果発表会」を以下のとおり開催した。

なお、開催に当たって、各政府機関・大阪府・業界団体の指針・ガイドラインに則り、新型コロナウイルス感染予防及び拡散防止のために必要な措置を講じた。

<開催概要>

開催日時：2022 年 8 月 4 日(木) 13:30~17:45

会 場：ホテルヴィスキオ尼崎 2階 オーク

発 表 者：8 団体(うち特別 2 団体(東日本大震災支援 1、西日本豪雨支援 1))、研究者 2 名

参加者数：約 60 名(発表者、傍聴者、当財団役員・委員等)

そ の 他：交流会(出席 21 団体の活動報告書ポスター掲出を含む)

II 財団運営に関わる事項

1. 機関運営（評議員会、理事会、事業審査評価委員会等の開催）

(1) 評議員会

開催回数：1回（うち、書面開催0回）

決議事項等：2021年度計算書類等の承認、評議員の選任

(2) 理事会

開催回数：3回（うち、書面開催0回）

決議事項等：業務執行状況報告のほか、以下の事項について決議を行った。

[第1回 2022年5月30日]

2021年度事業報告及び計算書類等の承認、評議員会の招集

[第2回 2022年11月21日]

2022年度収支予算の変更の承認、特定費用準備資金取扱規程の承認、
公募助成(特別枠)事業への特定費用準備資金の活用承認、
「上智学院、いのちの電話、あしなが育英会」への助成実施の承認

[第3回 2023年2月28日]

2022年度収支予算の変更及び特定費用準備資金の積立ての承認、
2023年度公募助成(活動及び研究)の採択決定等の承認、
2023年度「上智学院、いのちの電話」への助成承認、
2023年度AED訓練器等助成事業における採択決定の承認、
2023年度基本財産の運用基本方針の承認、
2023年度事業計画及び収支予算の承認、
2024年度公募助成(活動及び研究)の基本方針の承認、
2024年度AED訓練器等助成事業の基本方針の承認

(3) 事業審査評価委員会

開催回数：3回（うち、書面開催0回）

審議事項等：理事長からの諮問に基づき、以下の事項について審議を行い、理事長へ答申を行った。

[第1回 2022年5月20日]

2021年度助成事業の実績・成果等の確認・評価、
2021年事業報告(案)、2023年度公募助成の内容及び方法に関する指導・助言

[第2回 2022年12月26日]

2022年度研究助成(2年助成)の助成継続可否、
2023年度公募助成(活動及び研究)の審査

[第3回 2023年2月6日]

2023年度公募助成(活動及び研究)の審査、
2023年度助成先の審査、
2023年度事業計画(案)に対する指導・助言

(4) AED訓練器等助成事業審査委員会

開催回数：2回（うち、書面開催0回）

審議事項等：理事長からの諮問に基づき、以下の事項について審議を行い、理事長へ答申を行った。

[第1回 2022年5月12日]

2021年度AED訓練器等助成事業における実績・成果等の確認・評価、

2023年度AED訓練器等助成事業の内容及び方法に関する指導・助言

[第2回 2023年1月16日]

2023年度AED訓練器等助成事業の審査

2. その他

(1) 基本財産の運用

基本財産20億円は、西日本旅客鉄道株式会社の無担保社債（20年物）により10億円、国債（20年物）により10億円を継続して運用した。

(2) 広報活動及び情報公開

当財団のホームページにおいて、財務資料等の基本情報の開示や財団事業の実施概要、実施結果等の公表を行うとともに、公募助成やAED訓練器等助成で当財団が助成を行っている団体の取り組みを紹介した。また、事業実施時においては、これまでの記者クラブを通じたプレス発表に加えて、PRTIMES社の非営利団体活動支援プロジェクトに参画しネット媒体への情報提供も行った。このほか、JR主要駅へのポスター・パンフレット・心肺蘇生法副読本（日本AED財団が作成し小学校に配布）の掲出、財団紹介用パンフレットの制作・配布、広報誌「R e l i e f」の発行（2022年5月、11月）、SNS（Facebook企業ページ・Facebook広告）を活用した情報発信（通年）に加え、「いのちの作文コンクール」の実施にあたっては、学校への広報を行ったほか、作品集を製作し、参加校並びに地域の図書館等へ配布するなど、財団事業の認知度向上のための広報活動を実施した。

(3) 報道実績

- ・「いのちのセミナー」米良氏講師6月開催・参加者募集 … 大阪日日新聞（4/4）
- ・「2023年度AED訓練器等助成先」募集（AEDの普及へ訓練器等助成） … 大阪日日新聞（8/4）
- ・いのちの作文コンクール表彰式 … 交通新聞（12/22）
※ネット41媒体（産経ニュース・時事ドットコム・読売新聞オンライン・朝日新聞デジタル等）
- ・安全セミナー開催・参加者募集 … 交通新聞（1/16）
※ネット27媒体（産経ニュース・時事ドットコム・読売新聞オンライン・朝日新聞デジタル等）

[ネット媒体のみ]

- ・第3回いのちのセミナー … ネット20媒体（時事ドットコム・読売新聞オンライン等）
- ・第4回いのちのセミナー … ネット25媒体（産経ニュース・時事ドットコム・読売新聞オンライン等）
- ・第5回いのちのセミナー … ネット27媒体（産経ニュース・時事ドットコム・読売新聞オンライン等）
- ・公募助成先の決定 … ネット20媒体（産経ニュース・時事ドットコム・読売新聞オンライン等）
- ・AED訓練器等助成先の決定 … ネット25媒体（産経ニュース・時事ドットコム・読売新聞オンライン・朝日新聞デジタル等）